



2024年10月15日

各位

会社名 株式会社トリプルアイズ
代表者名 代表取締役 山田 雄一郎
(コード番号: 5026 東証グロース)
問い合わせ先 執行役員 近藤 一寛
(TEL. 03-3526-2201)

通期業績予想と実績の差異及び貸倒引当金繰入額、投資有価証券評価損並びに繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、2024年8月期（2023年9月1日～2024年8月31日）の通期業績予想（2024年7月12日公表）と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、貸倒引当金繰入額、投資有価証券評価損並びに繰延税金資産を計上いたしましたので、下記の通りあわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

(1) 2024年8月期通期連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2024年7月12日発表)	百万円 4,341	百万円 3	百万円 21	百万円 5	円 銭 0.71
実績値 (B)	4,410	43	52	83	11.36
増減額 (B-A)	68	39	30	78	
増減率 (%)	1.6	-	136.9	-	
(ご参考) 前期実績 (2023年8月期)	2,346	△269	△290	△825	△118.67

2. 差異が生じた理由

売上高及び開示している全ての段階利益において、業績予想を上回り着地いたしました。

売上高については、事業が堅調に推移した結果、当社の想定をわずかに上回る実績となりました。一方、営業利益、経常利益については、以下の理由により前回発表予想を大きく上回る実績となりました。

AIソリューション事業においては、前回発表予想時点と比較し、2024年7月1日付けで連結子会社化した株式会社 BEX において案件の獲得が期末まで好調に進んだこと並びに PMI のコストを抑制出来たこと、当社の事業において大型の受託開発案件に関する原価が想定より減少し売上総利益率を向上出来たこと等により、営業利益が増加いたしました。

GPU サーバー事業においては、前回発表予想時点と比較し、保守売上に関する原価率の低減に伴う売上総利益率の向上等により、営業利益が増加いたしました。

なお、「3. 貸倒引当金繰入額の計上について」及び「4. 投資有価証券評価損の計上について」に記載の通り、貸倒引当金繰入額並びに投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより、税金等調整前当期純利益はマイナスとなりました。一方で、「5. 繰延税金資産の計上について」に記載の通り、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益の
前回発表予想と比較した実績値の増加額は、営業利益及び経常利益の増加額と比較すると多額となっております。

3. 貸倒引当金繰入額の計上について

当社の連結子会社である株式会社ゼロフィールドは、資金の貸付を、同社からのスピンオフにより設立された Qasee 株式会社(所在地：東京都港区芝浦三丁目 4 番 1 号)(以下、当該貸付先)に対して、事業の立ち上げ期における経営サポートの一環として行っておりました。その長期貸付金及び係る受取利息の未入金について、当該貸付先の経営状態や事業活動の状況、今後の収益及び資金繰りの見通し等を元に、将来の回収可能性を総合的に勘案した結果、債権の回収見込みが不確定であると判断いたしました。よって、当該未回収債権の全額について、2024 年 8 月期において貸倒引当金繰入額 109 百万円を特別損失として計上いたしました。今回、貸倒引当金を計上するに至りましたが、債権の回収は続けてまいります。

上記は個別の会社との貸付に関する事象であり、その他の会社への貸付は行っていないことから、当社の事業に関する影響は軽微であると認識しております。また、今後の業績への影響に関しては、2024 年 8 月期に全額貸倒引当金繰入額として計上していることから、2025 年 8 月期以降における追加の計上は無く、貸付の回収が行われた場合は営業外収益に戻入予定であります。

なお、当社は 2024 年 8 月期より株式会社ゼロフィールドを連結子会社化しておりますが、株式会社ゼロフィールドと当該貸付先は、当社の連結子会社化以前より資本関係はなく、また当該資金の貸付は当社による連結子会社化以前に行われたものであります。

こちらについては、本日発表の 2024 年 8 月期決算に反映しております。

4. 投資有価証券評価損の計上について

当社が保有する投資有価証券は、主に AI ソリューション事業とのシナジー醸成や事業領域の拡大を目的とした、市場価格のない株式であります。その一部について、帳簿価額に比べて実質価額が著しく下落したと判断したため、減損処理を行うことにより、2024 年 8 月期第 4 四半期において投資有価証券評価損 29 百万円を特別損失として計上いたしました。

こちらについては、本日発表の 2024 年 8 月期決算に反映しております。

5. 繰延税金資産の計上について

当社グループは、グループ通算制度を導入しております。当社は、2024 年 8 月期及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2024 年 8 月期において、繰延税金資産を計上いたしました。これにより 2024 年 8 月期の法人税等調整額(△は利益)は、△193 百万円となりました。

こちらについては、本日発表の 2024 年 8 月期決算に反映しております。

以上